

【情報公開文書】

作成日2025年11月27日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号：I2025-344

課題名：外耳道良性腫瘤性病変の臨床像に関する検討および早期外耳道癌との鑑別の試み

1. 研究の対象

2015年4月～2024年10月に当院で”外耳道の良性腫瘤性病変”または”外耳道癌T1かつ腫瘍・充满型”と診断された方

2. 研究期間

20 年 月 日（研究実施許可日）～2027 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 20 年 月 日（研究実施許可日）

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

今回の研究では、外耳道に限局した腫瘤性病変をもつ患者さんを対象として、良性疾患の臨床的な特徴(症状や経過、検査結果など)と疾患の割合について詳らかにします。頻度や症状、経過等を調べることにより、良性疾患のより良いマネジメントが可能になります。また、画像上良性腫瘤性病変と区別が難しい、外耳道癌T1(外耳道に限局した病変)腫瘍・充满型の患者さんの臨床像と良性疾患の患者さんを比較し、どのような場合には悪性の可能性が高く、早期に悪性と診断するにはどうすれば良いかを検索することで、外耳道癌の根治が目指しやすくなると考えられます。

5. 研究方法

上記”1. 研究の対象の方”について、診療録を参照し、”6. 研究に用いる資料・情報の種類”に記載した内容を抽出します。良性腫瘍性病変の方、外耳道癌の方それぞれについてまとめ、比較を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往などの患者背景、病歴、治療歴、病理・画像検査結果

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は東京科学大学耳鼻咽喉科教室の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学病院 耳鼻咽喉科 丸山絢子

連絡先：03-5803-5308

maruyama.oto@tmd.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学病院 耳鼻咽喉科 丸山絢子

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日9:00～17:00)